

普及センター

もいおか



第115号平成23年12月27日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

農薬の適正使用、飛散防止で安全な農産物の提供を！！

平成23年においては、県内での農薬の不適正な使用（誤使用）は2件報告がありました。その内容は表のとおりで、いずれも出荷前に気づき、農薬残留基準の違反には至りませんでした。

参考までに、22年には野菜で2件の不適正使用があり、内容は農薬登録適用作物に該当していない野菜に対する使用でした。

農薬の誤使用により、残留農薬基準違反のおそれがある場合、例えば果菜類では、出荷を一時停止して農薬の残留分析を行い、果実の農薬の濃度が決められた値を下回ることを確認した上で出荷を再開できるようにします。このため、出荷停止の間は果菜類の草勢を維持するために収穫を続けますが、収穫物の販売はできません。

誤使用の原因としては、使用前にラベルを確認していなかったことです。

24年産農産物の生産にあたっては、誤使用や他作物への飛散を防止するよう、今から対策をとっておきたいものです。

【表 誤使用の報告があった内容】

品目	誤使用の内容	原因
果菜類	使用回数の超過（2回以内のところ3回使用）	使用前にラベルの記載を確認しなかった
果菜類	希釈倍数の誤り（濃い濃度で散布）	同上

確認



例えば、上記の誤使用に対しては、次のような表を作成し、散布農薬を計ったり溶かしたりする場所に掲示しておくのも一方法です。

【チェック表作成例】

薬 剤		希釈倍数	使用回数			使用時期
殺菌剤	Aフロアブル	600倍	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収穫前日まで
殺虫剤	B水和剤	4,000倍	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収穫前日まで
殺ダニ剤	Cフロアブル	2,000倍	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収穫前日まで

※ 使用回数は、例えばAフロアブルの場合3回以内なので、あらかじめ○を3つ書いておき、散布したら斜線を引きチェックしておく。

良質もち米生産の決意を新たに～もち米生産者大会～

J Aいわて中央は生産者数が1,500余名を数える全国有数のもち米産地です。

23年産もち米の出荷数量は1万tを達成（契約数量対比106%）、しかも10月末現在の一等米比率は88.1%（全国平均は65.5%）となり、収量・品質とも近年では最高の出来となりました。

このような状況の中、12月2日にJ Aいわて中央本所において、生産者や実需者、関係機関など約170名が参加して、もち米生産部会生産者大会が盛大に開催されました。大会では良質米・一定量生産を柱とするスローガンを確認、また岩館部会長から大震災の被災地へ年末にお供え餅を提供することなどが発表されました。

その後、全農全国本部米穀部の長瀬課長から講演をいただき、24年産以降についてももち米の需要が非常に高いとのお話がありました。栽培者にとっては、これからの作付けに向けて決意を新たにす大会とのお話がありました。

もち米ならではの栽培面での難しさはありますが、今後も生産者と関係機関が一体となって良質米の生産に取り組みます。



あいさつする岩館部会長



研修会の様子

タラノメの特産化を目指して山菜栽培セミナー開催

雫石町では、町内にある豊富な山菜資源を有効に活用し農業者の所得確保に結びつけることを目的に、平成22年度から山菜栽培セミナーを開催しています。

セミナーでは、ふかし促成栽培タラノメについて研修を行なっています。タラノメは、消費者に人気があり遊休農地の有効活用や、冬場の収入源の確保ができることから取り上げました。

今年度は、栽培講習会1回、現地研修会2回、先進地研修1回を予定しています。12月6日に開催したセミナーでは穂木採取方法、伏せ込み床準備について現地研修を行いました。雪のちらつく中、株養成圃場で真剣に説明を聞く参加者の姿が印象的でした。次回は1月下旬に先進地である遠野市を研修する予定です。

セミナー受講者は現在18名です。このうち4名がすでに栽培し、町内の産直に出荷しています。雫石町の取組はまだ始まったばかりですが、この活動が新たな特産品に結びつくよう、普及センターは支援していきます。



研修会の様子

